

科目名	母性看護学課題研究 I Special Research I in Maternity Nursing		担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 渡邊 聡子 (102)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	2 (30)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
											遠隔授業	否
科目 目的	母性看護学分野の演習や臨地教育実習または母性看護学実習を通して得られた特定課題について、文献検索・検討を行い、理論的根拠をもって研究的視点を明確にしながら、適切な研究手法を検討し、自らの研究課題を明確にする。中間審査受審に向け、研究課題に沿った研究計画を立案し、研究計画書を作成する。											
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。 7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。 ※臨地教育者コース：6 専門看護師コース：7										
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していける研究能力を身につけている。										
到達 目標	1. これまでの学習をもとに、研究課題を設定することができる。 2. 研究課題を解明するために必要な研究方法を選択し、研究計画を立案することができる。 3. 必要に応じて研究計画書に倫理的配慮を含めることができる。											
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション (50%)、研究計画 (40%)、取組み状況 (10%)											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時に提示する。											
受講者への メッセージ	看護実践および看護教育実践を通して得られた研究課題を明確にしていくプロセスが大切です。実践の中で感じる疑問や問題意識に注目し、それらを言語化できるよう取り組みましょう。											
備考	1年次後期に中間審査を受審することが望ましい。											
学 習 内 容												
【到達目標 1 について】 - これまでの演習や実習での学習における疑問や問題意識をまとめ、自己の研究疑問の方向性を明らかにする。 - 自己の研究疑問に関する文献検討を行い、概念の整理と課題の背景を明確にすることから研究課題を特定する。 - 看護実践や看護教育における技術・知識の発展につながる研究課題であるかその意義を明確にする。 【到達目標 2 について】 - 事例研究、フィールド・スタディ、現象学的アプローチ、ニーズ・アセスメント、評価研究など研究課題を探究するために適切な研究手法について学ぶ。 - 研究課題に適した研究方法を選択し、研究計画として立案する。 【到達目標 3 について】 - 研究倫理審査の受審も見据えて倫理的配慮についても検討し、必要に応じて研究計画書に反映させる。												